

たてばやし

第200号

# 市議会だより

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>

編集：館林市議会報編集委員会



## 10月9日に初議会が開かれ 市議会の構成が決まりました

### 主な掲載記事

- 初議会のあらまし ..... 2～3 ページ
- 9月議会のあらまし ..... 4～6 ページ
- 決算特別委員会 ..... 6～7 ページ
- 常任委員会の審査報告・議員個人の賛否結果一覧表 7 ページ
- 一般質問（4人） ..... 8～10 ページ
- 第2回臨時会の結果・議員個人の賛否結果一覧表 11 ページ

# 初議会のあらまし

任期満了に伴う市議会議員選挙が9月23日に行われ、当選された18名の議員により10月9日に初議会(第3回臨時会)が開かれ、市議会の新しい構成が決まりました。

まず、本会議の冒頭、正・副議長の選挙が行われ、議長に遠藤重吉議員、副議長に斉藤貢一議員が当選いたしました。

## 就任のごあいさつ

市議会議長 遠藤重吉  
市議会副議長 斉藤貢一

市議会初議会において、議員各位のご推挙により私達が市議会の正・副議長に就任いたしました。その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

もとより浅学非才の身でありませんが、初心にかえり市民の皆様の声を公平公正に反映させ、民主的で開かれた市議会運営に努めてまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様のご支援とご協力をお願い申しあげまして、就任のごあいさついたします。



斉藤 副議長



遠藤 議長

## 監査委員に向井誠議員

▽監査委員の選任について

市の監査委員の定数は2人ですが、そのうち1人は議員のうちから議会の同意を得て選任されることになっており、議会選出の監査委員として、向井誠議員が同意されました。

## 各種委員の選出

市議会改選後の初議会において、提出された議案や請願等を専門的に審査する各常任委員会の委員をはじめ、板倉町との合併に関する調査研究を行う合併調査特別委員会委員、議会の円滑かつ適正な運営を期すため、議会の会期や議事の進め方等を協議する議会運営委員会委員、「たてばやし市議会だより」を編集発行する議会報編集委員会委員が各会派から選出されました。

また、一部事務組合議会議員、群馬東部水道企業団議会議員及び群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員についても、初議会において、選挙が行われました。

## 各委員会の紹介

◎委員長 ○副委員長

### 総務文教常任委員会(6人)

政策企画部、総務部、出納室及び教育委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会に属さない事項

- ◎ 洪谷理津子
- 平井 玲子
- 松本 隆志
- 斉藤 晋一
- 篠木 正明
- 井野口勝則

### 市民福祉常任委員会(6人)

市民環境部及び保健福祉部の所管に属する事項

- ◎ 権田 昌弘
- 柴田 信
- 森田 武雄
- 斉藤 貢一
- 遠藤 重吉
- 向井 誠

### 経済建設常任委員会(6人)

経済部、農業委員会及び都市建設部の所管に属する事項

- ◎ 櫻井 正廣
- 川村 幸人
- 今野 郷士
- 吉野 高史
- 野村 晴三
- 小林 信

### 合併調査特別委員会(7人)

板倉町との合併に関する調査・研究等を行います。

- ◎ 野村 晴三
- 洪谷理津子
- 斉藤 晋一
- 櫻井 正廣
- 篠木 正明
- 向井 誠
- 井野口勝則

### 議会運営委員会(6人)

議会の円滑かつ適正な運営を期すため、議会運営について協議し意見調整を図ります。

- ◎ 井野口勝則
- 斉藤 晋一
- 洪谷理津子
- 篠木 正明
- 野村 晴三
- 向井 誠

### 議会報編集委員会(5人)

定例会ごとに発行する、議会だよりの編集作業等を行います。

- ◎ 松本 隆志
- 平井 玲子
- 斉藤 晋一
- 井野口勝則
- 小林 信

### 市議会会派 一覧表

○代表者

名 称	議 員 名
緑水クラブ	○野村 晴三 松本 隆志 柴田 信 川村 幸人 斉藤 晋一 渋谷理津子 権田 昌弘 櫻井 正廣 遠藤 重吉
公明党	○向井 誠 平井 玲子
日本共産党 館林市議団	○小林 信 篠木 正明
こうし 虹志かい 会	○井野口勝則 斉藤 貢一
無会派	今野 郷士 森田 武雄 吉野 高史

### 一部事務組合・広域連合 議会議員一覧表

名 称	議 員 名
邑楽館林医療事務 組合議会議員	権田 昌弘 斉藤 貢一 篠木 正明 吉野 高史
館林衛生施設組合 議会議員	森田 武雄 向井 誠 井野口勝則 小林 信
館林地区消防組合 議会議員	松本 隆志 柴田 信 野村 晴三
群馬東部水道企業団 議会議員	櫻井 正廣 遠藤 重吉
群馬県後期高齢者医療 広域連合議会議員	遠藤 重吉

### 市議会議員名簿

(議席順)

議席 番号	氏 名	住 所	電話番号	議席 番号	氏 名	住 所	電話番号
1	松本 隆志	花山町 23-4	55-1438	10	櫻井 正廣	西美園町 756-32	75-3559
2	柴田 信	仲町 5-20	090-4543-3402	11	斉藤 貢一	分福町 1000-35	73-0863
3	平井 玲子	松沼町 26-13	74-2423	12	篠木 正明	松原三丁目 6-13	73-9615
4	今野 郷士	松沼町 28-3	090-3002-6135	13	吉野 高史	赤生田町 1699-1	080-5179-3538
5	川村 幸人	つつじ町 11-5	51-8045	14	遠藤 重吉	赤生田本町 1432-2	73-8650
6	斉藤 晋一	大街道一丁目 13-23	72-3200	15	野村 晴三	成島町 688-1	72-1354
7	森田 武雄	松原二丁目 15-20	080-1147-7771	16	向井 誠	加法師町 6-21	73-8163
8	渋谷理津子	当郷町 1980-2	51-8063	17	井野口勝則	成島町 597	72-2090
9	権田 昌弘	日向町 970-32	72-9958	18	小林 信	西高根町 9-23	73-2066

### 議員個人の賛否結果一覧表 (第3回臨時会)

議案名	議席番号 議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	結果	
		松本隆志	柴田信	平井玲子	今野郷士	川村幸人	斉藤晋一	森田武雄	渋谷理津子	権田昌弘	櫻井正廣	斉藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三	向井誠	井野口勝則	小林信		
議案第59号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※遠藤重吉議長は採決に加わりませんので「-」となっています。

【○：賛成 ●：反対 除：除斥】

除斥とは：議案と一定の利害関係を有する議員は、審議の際に議場から退席することとなっています。

# 9月議会のあらまし

平成30年館林市議会第3回定例会は、8月28日から9月12日までの16日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案等は、報告1件、議案9件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、可決、認定されました。その他、委員会提出議案1件、議員提出議案3件、請願2件の審議が行われました。

## 人事案件

▽教育委員会委員の任命について  
猪熊妙子さん(若宮町)の任期が、本年10月8日をもって満了となることから、引き続き任命することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会の同意を求められたもので、全員一致で同意されました。

地方自治法の規定に基づき、より適正に設置・運営するため、本条例を制定しようとするもので、全員一致で可決されました。

## 条例の制定

▽館林市附属機関設置条例  
外部有識者及び市民の意見を市政に反映させる仕組みである附属機関について

## 条例の改正

▽館林市地域包括支援センターの職員及び運営に関する

既存の利子補給制度を整理統合し、本条例を制定しようとするもので、全員一致で可決されました。

## その他の議案

▽土地の売却について  
館林市広域防災拠点整備事業用地のうち、群馬県企業局から取得した医療施設用地部分、面積3万6644.28㎡を金額11億9093万9100円で医療法人社団慶友会へ売却するに当たり、議会の議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

▽館林市清掃センター焼却処理施設解体工事請負契約の締結について  
旧ごみ焼却処理施設である館林市清掃センターは、昭和62年4月から供用を開始し、以来30年間運用してきましたが、平成29年4月の新ごみ焼却処理施設たてばやしクリーンセンターの供用開始に伴

い、平成29年3月に閉鎖した施設を4億9032万円の解体工事請負契約を締結しようとするもので、全員一致で可決されました。

## 報告

▽平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について  
「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、財政の早期健全化及び財政の再生並びに公営企業の経営の健全化を図るべき基準が設けられ、具体的な指標である実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、実質収支及び連結実質収支が黒字であることから赤字比率はなく、実質公債費比率は4.9%、将来負担比率は90.7%で



解体される清掃センター

あり、また、公営企業会計における資金不足比率については、資金不足額が生じていないことから資金不足比率はなく、全ての健全化判断比率及び公営企業会計における資金不足比率ともに、国の判断基準以下の数値となっているとの報告がありました。

**平成29年度決算**

▽平成29年度館林市歳入歳出決算の認定について

一般会計決算の概要は、最終予算額281億1915万2000円に対し、歳入決算額は283億5881万6133円で、予算に対する収入率は100・85%です。また、歳出決算額は266億9238万3296円で、その執行率は94・93%となり、歳入歳出差引残額は16億6643万2837円となります。このうち、翌年度へ繰越すべき財源861万3000円を差し引いた実質収支額は、16億5781万9837円となり、このうち12億50

00万円を財政調整基金に、3000万円を職員退職手当基金に積立てし、翌年度へ繰越すべき財源を含む3億8643万2837円を翌年度へ繰越しました。

特別会計の決算は、国民健康保険特別会計が、歳入96億5252万2777円、歳出93億7036万7956円。下水道事業特別会計が、歳入20億1992万1635円、歳出19億3660万3026円。農業集落排水事業特別会計が、歳入5271万1468円、歳出4257万5869円。介護保険特別会計が、歳入62億2055万8365円、歳出59億1391万2341円。後期高齢者医療特別会計が、歳入8億7553万1566円、歳出8億2884万9046円で、いずれの特別会計も黒字決算となりました。

日本共産党館林市議団から反対討論が、緑水クラブから賛成討論が行われ、採決の結果、賛成多数で認定されました。

## 委員会提出議案

### ▷地方財政の充実・強化を求める意見書（全員一致で可決）

【全文】地方自治体は、子育て支援策の充実と保育人材の確保、高齢化が進行する中での医療・介護などの社会保障への対応、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の実行やマイナンバー制度への対応、大規模災害を想定した防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面しています。

一方、地方公務員をはじめとした公的サービスを担う人材に限られる中で、新たなニーズへの対応と細やかな公的サービスの提供が困難となっており、人材確保を進めるとともに、これに見合う地方財政の確立をめざす必要があります。

こうした状況にもかかわらず、社会保障費の圧縮や「公的サービスの産業化」など地方財政をターゲットとした歳出削減にむけた議論が加速しています。とくに、「トップランナー方式」の導入は、民間委託を前提とした地方交付税算定を容認するものであり、地方財政全体の安易な縮小につながるものが危惧されるものとなっています。「インセンティブ改革」とあわせ、地方交付税制度を利用した国の政策誘導であり、客観・中立であるべき地方交付税制度の根幹を揺るがしかねないものです。

本来、必要な公共サービスを提供するため、財源面を担保するのが地方財政計画の役割です。しかし、財政再建目標を達成するためだけに歳出削減が行われ、結果として不可欠なサービスが削減されれば、本末転倒であり、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかです。

このため、2019年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすことが必要です。このため、政府に下記の事項の実現を求めます。

記

1. 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
2. 子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保及び地方財政措置を的確に行うこと。
3. 地方交付税における「トップランナー方式」の導入は、地域によって人口規模・事業規模の差異、各自自治体における検討経過や民間産業の展開度合いの違いを無視して経費を算定するものであり、廃

止・縮小を含めた検討を行うこと。

4. 災害時においても住民の命と財産を守る防災・減災事業は、これまで以上に重要であり、自治体庁舎をはじめとした公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業の対象事業の拡充と十分な期間の確保を行うこと。また、2015年度の国勢調査を踏まえた人口急減・急増自治体の行財政運営に支障が生じることがないように、地方交付税算定のあり方を引き続き検討すること。
5. 地域間の財源偏在性の是正のため、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。
6. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣

## 議員提出議案

▷館林市議会委員会条例の一部を改正する条例＝総務文教常任委員会及び市民福祉常任委員会の委員定数を7人から1人減じて6人とするため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▷群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書＝群馬大学医学部附属病院における一連の医療事故の影響により「特定機能病院」の承認が取り消されたことから、高度医療の提供や、医師の養成・確保に支障をきたすおそれのあるため、群馬大病院が特定機能病院として早期の再承認が実現できるよう、国に対して意見書を提出しようとするもので、全員一致で可決されました。提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官

▷館林市学校事故調査委員会条例＝賛成少数により否決となりました。

## 請願の審議結果

▷学校給食の無料化を求める請願＝賛成多数により継続審査となりました。

▷地方財政の充実・強化を求める請願＝意見書が可決されたことにより、みなす採択となりました。



### 合併調査特別委員会の 中間報告 (抜粋)



本委員会は平成 28 年 6 月 23 日の第 2 回定例会において、板倉町との合併に関する調査研究を行う目的に設置され、延べ 14 回にわたり委員会を開催したほか、栃木市への行政視察を実施するなど、館林市・板倉町合併協議会と連動しながら、新市のまちづくりや合併の方式等について検討することを目的に調査研究を重ねてまいりました。現在、板倉町との合併協議は未だ途上にあり、両市町の議員間での協議は土俵にすら上っていない状況ですが、今回、本委員会における調査事項について、一定の結論を得るに至りました。

本委員会では、合併協議は今後も続いていくことから、行政当局、合併協議会及び板倉町議会との連携のもと、両市町の住民福祉の向上と持続可能なまちづくりを目指し、住民の声を吸い上げ、前向きな議論を重ねながら、合併に関する調査研究をなお一層推進していくことで、意見の一致を確認しましたとの報告がありました。

## 決算特別委員会

8 月 30 日の本会議で、議員全員による決算特別委員会が設置され、9 月 5 日から 7 日までの 3 日間にわたり審査が行われました。

採決の結果、議案第 57 号平成 29 年度館林市歳入歳出決算の認定については賛成多数をもって、原案のとおり認定すべきものと議決されました。

### 主な新規事業

○生活困窮者自立支援事業

新たに子どもの学習支援事業を実施した。

○保育園施設整備事業

南保育園の保育室を増築した。

○妊娠・出産包括支援事業  
子育て世代を支援するため、予防接種スケジュール管理等ができる子育てモバイルサービス事業を実施した。

○一般廃棄物処理施設整備事業  
新しいストックヤード建設のため、清掃センター焼却処理施設解体工事設計を実施した。

○雇用安定対策事業

U I ターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金を創設した。

○小学校施設整備事業

第二小学校屋内運動場大規模改修工事、第五小学校教室棟トイレ改修工事、第十小学校屋内運動場大規模改修工事設計を実施した。

○中学校施設整備事業

第三中学校普通教室棟西側トイレ改修工事を実施した。

○幼稚園施設整備事業

北幼稚園・南幼稚園・杉並幼稚園のトイレ改修工事を実施した。

○公民館施設整備事業

三野谷公民館改築工事設計を実施した。

### 主な継続事業

○金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で交付したほか、10%のプレミアム付館林市金券を発行し、一層の消費喚起及び地域経済の活性化を図った。

○幹線排水路整備事業

準用河川宮田川改修事業は、平成 16 年度から 19 年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事 40・6 m を実施した。

○西部一号线道路改良事業

平成 22 年度から 8 年継続事業として群馬県が整備を進め、本年度の県発注工事等の費用を負担し、事業が完了した。

○東部環状線改良事業

(市道 3363 号線)  
平成 21 年度から 9 年継続事業として整備を進め、本年度は舗装工事等を実施し、全ての区間の道路改良工事を完了した。

○土地区画整理事業

・西部第一南地区  
昭和 61 年度から 33 年継続事業として整備を進めているが、本年度は西口駅前広場整備工事 2892・1 m<sup>2</sup>、区画道路改良工事 109・5 m、1 戸 2 棟の建物

・西部第一中地区  
平成元年度から 37 年継続事業として整備を進めているが、本年度は西口駅前広場整備工事 2892・1 m<sup>2</sup>、区画道路改良工事 109・5 m、1 戸 2 棟の建物

・西部第一南地区  
昭和 61 年度から 33 年継続事業として整備を進めているが、本年度は西口駅前広場整備工事 2892・1 m<sup>2</sup>、区画道路改良工事 109・5 m、1 戸 2 棟の建物

・西部第一中地区  
平成元年度から 37 年継続事業として整備を進めているが、本年度は西口駅前広場整備工事 2892・1 m<sup>2</sup>、区画道路改良工事 109・5 m、1 戸 2 棟の建物

平成 29 年度 館林市歳入歳出決算総括表

(単位：円)

会計別	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一	一般会計	28,358,816,133	26,692,383,296	1,666,432,837
特別会計	国民健康保険	9,652,522,777	9,370,367,956	282,154,821
	下水道事業	2,019,921,635	1,936,603,026	83,318,609
	農業集落排水事業	52,711,468	42,575,869	10,135,599
	介護保険	6,220,558,365	5,913,912,341	306,646,024
	後期高齢者医療	875,531,566	828,849,046	46,682,520

移転等を実施した。  
・西部第二地区

平成11年度から26か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事を278m、6戸8棟の建物移転等を実施した。

## 常任委員会の審査報告

### 総務文教

付託された案件は、議案2件と請願2件で、議案については、「土地の売却について」及び「館林市三野谷公民館改築工事（建築工事）請負契約の締結について」で、2議案とも、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

請願については、継続審査となっていた「学校給食の無料化を求める請願」については、賛成多数をもって継続して審査すべきものと議決されました。また、「地方財政の充実・強化を求める請願」については、全員一致により採択と

○公共下水道整備事業  
昭和44年度から整備を進めているが、本年度は管きよ整備として污水管1661m、雨水きよ83・4mの布設、処理場整備として、施設工事を委託を実施した。

し、委員会提出議案として、今定例会に意見書を提出することになりました。

### 市民福祉

付託された案件は、「館林市清掃センター焼却処理施設解体工事請負契約の締結について」の1議案で、採決の結果は、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

### 経済建設

付託された案件は、「館林市農業近代化資金融通措置条例」の1議案で、採決の結果は、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

## 議員個人の賛否結果一覧表（第3回定例会）

議案等名	議席番号																				結果
	議員名																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	権田昌弘	櫻井正廣	渋谷理津子	齊藤貢一	青木一夫	渡辺充徳	(欠員)	(欠員)	篠木正明	吉野高史	岡村一男	遠藤重吉	青木幸雄	野村晴三	河野哲雄	向井誠	(欠員)	井野口勝則	小林信	町井猛	
議案第50号 教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	欠	同意
議案第51号 館林市附属機関設置条例	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	欠	原案決
議案第52号 館林市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	欠	原案決
議案第53号 館林市農業近代化資金融通措置条例	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案決
議案第54号 土地の売却について	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案決
議案第55号 館林市三野谷公民館改築工事（建築工事）請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案決
議案第56号 館林市清掃センター焼却処理施設解体工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案決
議案第57号 平成29年度館林市歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○			●	○	○	○	○	○	○	○		○	●	○	認定
議案第58号 平成30年度館林市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案決
委員会提出議案第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案決
議員提出議案第2号 館林市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	欠	原案決
議員提出議案第3号 群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認を求める意見書	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	欠	原案決
議員提出議案第4号 館林市学校事故調査委員会条例	●	●	●	○	○	○			●	○	●	●	○	●	○	●		●	●	○	原否決
請願第11号 学校給食の無料化を求める請願	△	△	△	△	△	△			▲	▲	△	△	▲	△	○	△		△	▲	△	継続審査

※河野哲雄議長は採決に加わりませんので、「-」となっています。【○：賛成 ●：反対 △：継続審査に賛成 ▲：継続審査に反対 欠：欠席】

# 市政を問う !!

8月31日

齊藤貢一議員 ( 9 ページ )

○当市の生涯学習等の現状と今後について

篠木正明議員 ( 9 ページ )

○保育園と放課後児童クラブ(学童保育所)の現状と課題について

渡辺充徳議員 ( 10 ページ )

○つつじが岡パークインの今後について  
○つつじ映像学習館について  
○企業誘致について

小林 信議員 ( 10 ページ )

○「命にかかわる猛暑」と言われた暑さに対する市の対応について

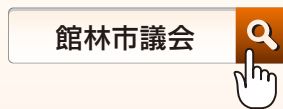
※一般質問通告書の質問事項を掲載

今定例会における一般質問は、8月31日に行われ、4人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をただしました。内容は広範にわたっておりありますので、その要旨を掲載いたします。(本文は質問者本人が要約したものです。)

# 一般質問

## 平成29年12月定例会より 議会の録画映像を配信しています

館林市議会では、「開かれた議会」を目指し、録画映像の配信が始まりました。本会議の様子はパソコン、スマートフォンやタブレット端末によりご覧になれます。配信は、議会閉会後(おおむね7日後)からとなります。市政や議会を知るためにも、ぜひご覧ください。



### ① トップページを開く

館林市ホームページ内「館林市議会」トップページを開きます

### ② ここをクリック!

トップページ下の方にある「録画映像配信」をクリックします



### ③ 議会中継の画面が開く



# 生涯学習等の現状と今後について

斉藤 貢一 議員

**質問** 生涯学習の目指すべき姿について伺います。

**答** 教育基本法第3条では、理念として、国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を

適切に生かすことのできる社会の実現を図らなければならぬと規定しています。

**質問** 学校教育、家庭教育、社会教育も広義的には生涯教育に含まれ、幅広い範囲になると理解していますが、市が主催している市民大学講座については、5回の講演を聴くという受け身の内

**答** 本市においては、年間を通して生涯学習館市民の会や公民館主催の学級講座等も行われており、市民の学びたい気持ちに寄り沿った学習支援を今後も推進してまいりたいと考えております。

**質問** スポーツも生涯学習の一環であり、夜間照明の

**答** 他の施設の利用状況並びに学校周辺の環境等に配慮しながら慎重に検討してまいります。

**答** 動物介在活動が注目を浴び、医療福祉面や防災面でも使役犬として活躍しています。生涯学習を通じて、動物を介在した市民福祉向上のためのプログラムが胎動し始めることを期待しています。また、人を育て、生かす「シビックプライド」の醸成という点に着目しつつ、どのように生涯学習に取り組むべきか、検討研究を重ねてまいります。

# 保育園と学童保育所の現状と課題について

篠木 正明 議員

**質問** 本市の保育園の現状と課題は何ですか。

**答** 保育園数は公立9園、私立6園、合計15園で、利用定員は公立と私立を合わせて1600人となっています。入所児童数は1604人で、入所率は100%を超えています。課題は保育士不足や待機児童問題な

ど5つあります。入所児童数は定員を超えているのと、公立で保育園別にみると、公立で利用定員と28人の差があります。保育士不足で基準を満たす保育士の配置ができないため、定員まで預かれないのだと思います。臨時保育士の賃金等は佐野市の

**答** 臨時保育士の賃金は他の臨時職員とのバランスもあるのですが、人事課との調整が必要ですが、保育士不足や待機児童解消を考えると、今後検討しなければならぬと認識しています。

**質問** 本市の学童保育所の現状と課題は何ですか。

**答** 最低基準が確保できない場合もあると思います。

**質問** 最低基準を下回るような増築で良いのですか。

**答** 増築を行う場合には最低基準に合致するよう進めていきたいと思っております。

**質問** 安定的な保育を保障するには、正規の保育士の

**質問** 学童保育所の不足をどう解決するのですか。

**答** 公共施設の活用や施設の増改築などを念頭に、既存施設の調査を進めたいと考えています。

保育士の賃金等は佐野市の

設置状況が不均衡になっていくと感じることから、市民に同一機会を設ける意味からも、美園小学校庭に夜間照明を設置する考えについて伺います。

**質問** 市長の政策の中には、犬に関するものが多く見られますが、綱吉公の事績や遺徳の中で、どのようなものを生かして、まちづくり

**答** 職員採用については人事課と調整しながら行っていきたくと考えています。

# つつじが岡パークインと映像学習館、企業誘致について問う

渡辺 充徳 議員

つつじが岡パークイン

**質問** つつじが岡パークインの今後の利活用として、

例えば、ランナーズスペースとして利活用ができないのか、お尋ねします。

**答** 都市計画法上の用途地域が第一種低層住居専用地域となっているため、ランナーズスペースを主な業

とする運営はできないこととなっております。ただし、

パークインの建設目的にもスポーツの振興が含まれていることから、一部検討できればと考えています。

**質問** 映像学習館について誘客効果を上げるためにも、映画上映など多目的に利用することはできな

いか、お尋ねします。

**答** 提案された映画の上映等の利用につきましては、誘客対策の一つとして有効なことだと考えます。しかし、

映画の上映等を行う場合には、上映期間や著作権の問題などがあるため、関連法令を踏まえ、調査研究してまいりたいと考えています。

**質問** 企業誘致について市長の考えをお尋ねします。

**答** 現在、誘致可能な団地に在庫がない状態です。

また、新たな団地造成には時間を要します。そのため、

本年度より市内への立地を希望する企業から市に問い合わせがあった場合、市から宅建業者へ企業に合う民間の物件の有無を照会し、

ある場合には市民で交渉してもらおう仕組みである企業立地マッチング促進事業を開始しています。市が現状で把握している工業系に利用できそうな未利用物件として、2か所、約3・3haの土地がございます。今後

もそのような物件を探すとともに、立地意欲のある企業と宅建業者をつないでいきたいと考えています。

**質問** インターチェンジ周辺は館林インター周辺についての考えをお尋ねします。

**答** 北関東道、圏央道が東北道と接続した昨今、館林市の優位性は高まっていると考えます。今後、土地利用の促進に向けて情報収集をしっかりと行ってまいりたいと考えています。

# 「命にかかわる猛暑」と言われた猛暑対策について

小林 信 議員

猛暑に対する対策は

**質問** 今年の夏は異常な猛暑で、マスクも盛んに「命にかかわる猛暑、ためらうことなくエアコンを入れる」と言っていました。この猛暑に対する対策をどのように行ってきたのですか。

7月から8月にかけて中体連の大会が行われていま

すが、この大会で熱中症として緊急搬送された事例はあるのか、お尋ねします。

**答** 中体連の大会で搬送された方は、城沼テニス場と城沼プールで行われた大会の2名です。競技会場として学校の体育館を使用する場合は、エアコンを使っ

て涼しくした教室を用意し、いつでも休めて体温を下げる環境を整えています。

中体連の今後の運営

**質問** エアコンの効く教室を用意して気分の悪くなつた人の「休憩場所を確保した」との答弁がありました。私が観戦した会場ではそのような事実はなく、本場に開放されていたのですか。

今後、中体連の大会における運営の在り方をどのように考えているのですか。

日程の変更を検討

**答** ご質問いただいた会場は人数が多いため対応できていない状況でした。

午前中の大会や7月上旬へ前倒しする等、熱中症対策を施しつつ、県の大会日程に合うような体制をとっていきたいと思います。

生活保護世帯等の対応

**質問** 平成30年度から受給の生活保護世帯に対しエアコンの設置が補助対象となつていますが、これまで認められていない世帯への対応や、猛暑で電気料金が

さんで生活に支障をきたす世帯について、どのように対応していくのですか。

**答** 以前からの受給者等は、毎月の保護費の中からエアコンを購入するか、社会福祉協議会の貸付金を利用して購入していただきました

と思います。電気代については、生命の危険にもつながるため、全県下統一した補助制度に向け、県にお願いすることも検討しなければならぬと思います。

## 第2回 臨時会の結果

平成30年館林市議会第2回臨時会が8月7日に開かれました。  
この臨時会に議員提出議案1件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

### 議員提出議案

#### 市議会議員の定数を18人に削減しました

▷館林市議会議員定数条例の一部を改正する条例＝市議会議員の定数を20人から2人削減し、18人とする改正案が提出され、賛成多数で可決されました。これにより、9月23日に執行された選挙から適用されました。

#### 議員個人の賛否結果一覧表 (第2回臨時会)

議案名	議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	結果
		権田昌弘	櫻井正廣	渋谷理津子	斉藤貢一	青木一夫	渡辺充徳	(欠員)	(欠員)	篠木正明	吉野高史	岡村一男	遠藤重吉	青木幸雄	野村晴三	河野哲雄	向井誠	(欠員)	井野口勝則	小林信	町井猛	
議員提出議案第1号	館林市議会議員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○			●	●	○	○	●	○	—	○		○	●	欠	原案可決

※河野哲雄議長は採決に加わりませんので「—」となっています。

【○：賛成 ●：反対 欠：欠席】

### “平成30年度(上期分) 政務活動費の収支報告”をお知らせします

政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、政策に関する調査研究、研修、広報等の活動のために市議会の会派へ交付される費用のことです。

館林市議会では、議員1人当たり年額15万円(月額12,500円×12か月)を当該年度分一括して各会派に交付しています。

各会派より提出されました「収支報告書及び会計帳簿」は、市議会ホームページで公開しています。



#### 平成30年度(上期分：平成30年4月～9月) 交付分を掲載

会派名	所属議員数	交付金額*	支出額	残額(返還額)	執行率
緑水クラブ	7人	525,000円	416,362円	108,638円	79.31%
自由クラブ	2人	150,000円	34,128円	115,872円	22.75%
公明党	2人	150,000円	85,000円	65,000円	56.67%
日本共産党館林市議団	2人	150,000円	150,000円	0円	100%
フォーラム館林	2人	150,000円	19,175円	130,825円	12.78%
彩生クラブ	2人	150,000円	150,000円	0円	100%
計	17人	1,275,000円	854,665円	420,335円	67.03%

※平成30年9月30日をもって議員の任期満了に伴い、交付額につきましては、年額を上期分と下期分に分けまして、今回は上期分として議員1人当たり75,000円を交付したものです。



# 議 会 を 傍 聴

## し て み ま せ ん か

本会議・常任委員会・特別委員会はどなたでも傍聴することができます。議会では皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会を傍聴してください。傍聴手続きは、議会棟の3階又は4階に備え付けの用紙に住所・氏名を記入するだけです。なお、傍聴席には限りがありますので、団体の場合はあらかじめ議会事務局までご連絡ください。

### 【12月定例会の予定】

- 12月 7日(金) 本会議＝会期の決定、議案提案説明など
- 10日(月) 本会議＝議案に対する質疑、委員会付託など
- 11日(火)・12日(水) 本会議＝一般質問
- 13日(木)・14日(金) 委員会＝常任委員会
- 20日(木) 本会議＝表決

☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等に変更になることもあります。  
☆一般質問の通告順位表は、12月5日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。  
(<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>⇒市議会をクリックしてお入りください。)



### 本会議場の 議席配置図

		15 野村 晴三	16 向井 誠	17 井野口勝則	18 小林 信		
	9 権田 昌弘	10 櫻井 正廣	11 齊藤 貢一	12 篠木 正明	13 吉野 高史	14 遠藤 重吉	
1 松本 隆志	2 柴田 信	3 平井 玲子	4 今野 郷士	5 川村 幸人	6 齊藤 晋一	7 森田 武雄	8 渋谷理津子

